



戸畑中央小 No.3 R2. 6. 26

学校だより

発行者 校長 新森修二



新しい生活様式に合わせた学校生活をつくります。

学校が再開し、子ども達も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあるようです。

教室をのぞくと、友達と間隔をとって座り、先生の問いに一生懸命に答えようとする姿を見ることができます。子ども達は3月からの臨時休校や分散登校により、様々なストレスを抱えていることと思いますが、まずは学びの場が確保できたことを素直に喜びたいと思います。

保護者の皆様には、これまで様々な面でご心配やご迷惑をおかけいたしました。快くご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

さて、様々な不安を抱えた中での学校生活です。感染拡大防止に努めるための「新しい生活様式」に沿った学校生活を、みんなで作り上げていかなければなりません。引き続き、ご協力をお願いしたいと思います。

まずは、朝の健康チェックです。少しでも不安があれば、決して無理をせず、休むようにしてください。このコロナウイルスの特徴として、微熱が上がり下がりすることが挙げられます。現在の教育委員会の方向性として、「解熱後、24時間様子を見ることが望ましい」とされています。

北九州市全体としては、まだ感染者が報告され続けている状況です。保護者の方の勤務や勉強の遅れなど、気になることが多いとは思いますが、まずは生命を守る行動・健康第一ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、「マスクをしていること」のデメリットにもご配慮ください。

本来、学校における教育活動は、人と人の深いかかわりをもって成り立っています。それが今できない状況です。マスクをして授業をすると、情報の7割は失われてしまいます。笑顔も少なくなります。挨拶が減ったり、人の表情を読めない子どもが増えたりするのではないかと心配しています。

先生のお話の真意がつかめなかったり、友達同士の気持ちのすれ違いが起こったりするかもしれません。ご家庭でのプラス思考的な声掛けをお願いしたいと思います。

校内では、消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンスなどに気を付けていきます。

保護者の皆様にはこれからも様々な負担をおかけすることになると思いますが、教育活動の場を維持していくためにも、ぜひ応援をお願いいたします。



温かいお心遣い、ありがとうございます。

新型コロナウイルスに関連して、地域の方より温かいお心遣いをいただきましたので、ご紹介させていただきます。

まず、東戸畑まちづくり協議会様より、手作りマスクを1年生に寄付していただきました。4月の入学手続きの際に、1枚ずつ配布させていただきました。マスクが不足していた時でしたので、本当にありがたい申し出をいただきました。

また、九販石油株式会社様より、ハンディ型AIサーマルカメラ（18万円相当）を1台、寄付していただきました。体温チェックに活用させていただいています。

実は、戸畑区内の全小学校に、子ども達のためにと1台ずつ寄付をしていただいています。本当にありがとうございました。